

学校評価(本評価)のアンケートにご協力いただきました保護者の皆様、生徒の皆さんに感謝申し上げます。

遅くなりましたが、学校評価(本評価)ができましたので報告させていただきます。

分掌・学年・教科	重点目標	取 り 組 み	本 評 価
教務部	授業を大切にす。	7限授業に伴う増加単位、増加コマを活用し基礎、基本の習熟に努める。全体の底上げを工夫する。	46分7限授業も8年目に入り、慣れてきている。生徒への指導の工夫を教科・学年会等で検討し、基礎基本の習熟につとめていきたい。
		46分間の授業を大切にする為に教員は生徒に迅速な行動を働きかける。	生徒にはこの時間が定着し、教員も生徒への働きかけを行っている。しかし、まだまだ完璧とはいえないので、今後もしっかりと指導していきたい。
		曜日変更等を行うことによって1単位当りの授業時間数の均一化を図る。	年度当初に1年間の時間数を計算して、均一化を図っている。本年度は月曜日の授業日数が極端に少なく、月曜日の7限ローテーションだけでは調整できなく、他日変更を5日行った。非常勤講師の勤務日の関係もあり、混乱した部分もあった。
		教員の出張、休暇に伴う自習・課題を回避するために時間割変更を追求する。	担当者は努力しているが、時間割が硬直しているため不可能な場合も多い。しかし、自習・課題は少なくなっている。
		授業を大切にするために諸連絡を迅速、適正に伝達する。	教員はしっかりと行っているが、生徒の取り組みはまだまだのようである。指導をしっかりとしていきたい。
		定期考査を厳正に行う。	職員朝礼の場で教員に対して毎回注意をうながした。教員は厳密に監督した。
		学習アンケートを実施し、各教科、学年でも分析し、その結果を授業に活かす工夫をする。	学習アンケートを実施し、分析を行った。しかし、授業に活かすためにはまだ充分とはいえない。今後、授業等に活かせるように工夫したい。
生徒指導部	品位ある生徒の育成	制服の正しい着用	数値からは保護者と生徒のほとんどが現状に満足しているように見て取れるが、「制服を正しく着用する」という観点においては、女子生徒のミニスカートをはじめとする複数の事象に於いて、大幅な意識改革の必要を認める。
		基本的な生活習慣の確立	遅刻や欠席の数を例にとれば、数値は少なく良好であるが、学年が上がるにつれて遅刻欠席が多くなることについて問題を認める。
		挨拶の励行	挨拶に応えることはできているが、自発的に挨拶をする習慣を定着させる必要を認める。特に外来者に対する対応を重視したい。
		整理整頓の推進	ロッカーの上の私物放置の有無が、整理整頓の一つの目安と考えられるが、学年により到達度に大きな差があることから、教師側の足並みを揃えることの必要性を認める。
進路指導部	進路について考える	生徒が自己の適性・能力・希望を正確に把握するため、進路に関する情報や資料を提供する。	教員側からの進路に関する情報の提供に対して、それを生徒が自らの進路情報として活用できていないように感じられる。今後は生徒自ら進路に関する情報を積極的に収集する姿勢を育成できるよう、指導を進めたい。
		望ましい職業観・社会観を育てるため、キャリアワークショップを開催するとともに職業体験等への参加を促す。	1年生でキャリアワークショップを実施し、実際に職業に携わる講師をお招きして仕事の実情とその職業に就くために必要なこととお話いただいた。今後もこのような取り組みを継続して、生徒の職業観・社会観の育成をはかっていきたい。
	進路実現のための学力の向上	大学・学部・学科の理解を深めるためブチカレを実施し、オープンキャンパスへの参加等で主体的に情報を収集させる。	2年生でブチカレを実施し、大学の講師をお招きして模擬講義を実施していただいた。また、2・3年生を中心に大学のオープンキャンパスに参加する生徒もあつた。このような取り組みを通して、生徒自らが進路に関する情報収集を積極的にこなせるよう、指導をすすめたい。
		学習会・補習に積極的に取り組み、校内実考・学力テスト等を有効活用することで学力の向上を図る。	夏休み・冬休みに各学年で学習会を実施した。多くの生徒が前向きな姿勢で参加することができ、3年生ではその努力の成果が成績にあらわれてきたように感じられた。
		検討会を実施して生徒の学力・志望などを学年で共有する。その情報を個人面談や保護者会にフィードバックさせる。	3年生での検討会は学期ごとに実施され、各学期に応じて必要な内容をさまざまな角度から生徒の状況を分析することができた。ただ、検討会はどうしても3年生中心になってしまうため、1・2年生でも生徒の学力分析につとめ進路実現のための情報提供につなげられるよう考えていきたい。
生徒会部	生徒会活動の活性化	生徒の主体的活動を援助し、生徒会行事(球技大会、丹膏祭、文化行事、予餞会、清掃ボランティア、奉仕活動など)の活性化を図る。	丹膏祭はじめ各種行事において生徒の活動は概ね活発で、本校生徒の行事に対する姿勢は積極的である。しかし、一部生徒の中には行事への取り組みが消極的だと感じている生徒もいるので、生徒の行事に対する気持ちが少しでも高まるよう工夫していきたい。
		生徒会執行部・常任委員会の活発化を図る。	執行部・常任委員会とも、活動をよくやっている。生徒会活動が十分に伝わっていない点がある。また、議員自身が仕事に更に充実感を持てるようにしていきたい。
		部活動の活動時間を確保する。	生徒は生き生きと部活動に参加している。部活動をもっと行いたいと思っている生徒もいるが、活動時間は十分に与えられていると考える。
		部活動の活動時間を守らせる。	最終下校時刻が練習終了時間だという意識で行動しているため、どうしても下校時刻が遅くなりがちである。最終下校時刻はあくまで完全下校の時間だという意識の徹底が必要である。そのための周知をどうすべきか生徒会として考える必要がある。
		部活動の活発化を図る。	全体で90%程度の生徒が部活動に登録している。いわゆる幽霊部員の実態(実数)は把握できていない。参加している生徒がより積極的に活動に参加できる環境整備をしていきたい。

分掌・学年・教科	重点目標	取 り 組 み	本評価
総務部	保護者との連携(教育活動を積極的に公開する)	総会・学級懇談会に45%の出席を目標に担任から呼びかけをしてもらう。	学年が上がるにつれて出席率が低くなる傾向がある。今後も学年との連携をこれまで以上に密にして、2・3年生の出席率を上げるよう努力していく。
		各学年で最低1回は公開授業を実施し、実施後、保護者・生徒にアンケートを行い、授業改善に役立てる。	各学年、年間1回に回数が減少。(教育課程・進路説明会の会場変更により)質を高める方法を考える。また、アンケート回収率についてもさらにアップさせるような工夫を図る。
		総会、公開授業等の案内を充実させることで出席率を高める。学校ホームページにも載せて広報する。	案内及び当日の様子について、学校HPを使って広報を充実させた。
		総会、地区別PTA、理事会等において保護者の意見、要望を聴取またはアンケートを実施して、その結果を「丹羽高だより」や保護者会等を利用して報告する。	各行事後、実施したアンケート結果を、PTA理事会などを通して保護者に報告することができた。職員にも提示し、改善のヒントとした。
図書部	読書指導の推進	校内読書感想文コンクールを、実施する。	例年通り読書感想文コンクールを実施することができた。
		読書への関心を高めるために、多読者表彰・雑誌展示会など各種イベントを実施する。	多読者表彰、イベント表彰、雑誌展示会、読書会など各種イベントを実施することができた。
		図書館だよりを定期的に発行し、推薦図書や話題の本を紹介する。	生徒図書委員が発行する「図書館だより」を定期的に発行した。図書館からの情報発信にさらに努めたい。
		季節に応じた図書館内の飾り付けを充実させる。	図書館内と図書館前の掲示板を利用して、季節の飾り付け、新着図書の紹介等を充実させることができた。また、図書館内の本の展示台を使い見易くすることができた。
保健厚生部	校内の環境美化に努める。	環境美化に対する意識を持たせるために、朝礼・LT・ST時や、大掃除等機会ある毎に呼びかける。	美化だよりを発行し、今後も環境美化に対する意識付けを行っていききたい。
		ゴミの分別を徹底するように、また、ペットボトルや空き缶を放置しないように指導する。	教室内のゴミ箱の中にペットボトル等の不燃ゴミが入っていることは、少なくなった。しかし、自習室等のゴミ箱に混ざっていることがあり今後も呼びかけていきたい。
		通常の清掃時間10分間や特別清掃の時間帯において、時間を有効に生かし、きちんと活動するよう指導する。	耐震工事の関係で東の渡りが使用できなかったこともあり、清掃場所への移動が遅い生徒がいた。遅れないよう周知していききたい。
		清掃点検を実施し、優良箇所は発表し、不良箇所については清掃監督者及び清掃担当生徒に連絡し、注意をする。	清掃点検結果を美化だよりで優良箇所を発表し、クラス掲示することにより、環境美化に対する意識向上を図っていききたい。
研修部	職員の資質向上を目指す。	各教科の研究授業の実施を通し、授業能力の向上を目指す。	研究授業実施状況は、ほぼ予定通り実施できている。公開授業については多くの教員が参観できるよう周知していききたい。
		現職研修を、充実した内容として、参加者の増加に努める。	参加者を増やすため、タイムリーでより充実した研修を考えていききたい。
		学校評価を実施することにより、学校改善に役立っている。	保護者・生徒の、学校評価閲覧者数は20%程度である。学校評価がホームページに掲載されていることを宣伝していききたい。 教職員はいつそう学校評価の結果を活用して学校改善に努めていく必要がある。
第3学年	基本的な生活習慣を確立させ、社会人としての最低限のマナーを身につけさせる。	挨拶をしっかりとさせる。	生徒はよく挨拶した。積極的に働きかけた成果が出たと思われる。
		整理整頓をしっかりとさせる。	日常的にはロッカー内や机の中などの整理整頓が十分ではなかったが、長期休業中などには私物持ち帰りの指導をした。
		身だしなみを正させる。	高校生らしい身だしなみを理解させ指導することができた。
第2学年	進路実現に向けたきめ細かなサポート体制の確立。	朝学・土曜学習・特別講座・センター演習・補習に積極的に参加させることにより基礎学力・応用力の向上を目指し、全員第1志望校の合格を目指す。	目標意識を持ち、基礎学力、応用力の定着を図ることができた。補習、学習会に積極的に参加させることができた。
		進路目標達成のための学習時間の確保。	居残り学習へ積極的に参加させることにより、学習時間を確保させる。
		丹羽高生としての誇りと自信が持てる生徒の育成	挨拶をしっかりとさせる。 時間を守らせる。 整理整頓をしっかりとさせる。 「朝学」を行うことで、落ち着いた状態で学校生活を始めさせる。
第1学年	基礎学力の定着と進路目標の設定	「朝学」を行うことで、基礎事項を再確認させる。	8:30に登校できず、遅れて入ってくるため、集中して取り組んでいる生徒に迷惑をかけている。教員もできるだけ早めに教室に入るようにしたい。
		週末課題など、適時に適量を指示し取り組ませる。	週末や長期休業中の課題の重要性は理解しているが、期限を守れない生徒がいる。居残り指導などで提出を強制しなければならず残念である。
		早朝補習や学習会を実施し、基礎学力の定着を図る。	参加状況は悪くない。ただし一部で予習をせずに補習に臨む生徒もいるので、基礎力定着のためにさらに指導を続けたい。
第1学年	基本的な生活習慣の確立	プチカレやオープンキャンパスを通して、学部・学科の決定の一助とさせる。	教員は、具体的な学部学科について考える生徒が中間評価より増えていると感じているが、生徒は具体的な目標設定には至っていないようである。
		土曜学習を実施する。(2学期後半より)	部活動を優先して土曜学習を行っているが、約半数の生徒が登録し4割の生徒が参加している。来年度はさらに多くの生徒が参加できるようにしたい。
		挨拶をしっかりとさせる。	中間評価時よりも「1:できている」が減少した。今後も品位ある生徒を目指して継続指導をしていきたい。
		時間を守らせる。	中間評価時よりも「1:できている」が減少した。生徒自身の評価の減少が特に大きい。自覚のあるうちに効果的な指導をしていきたい。
第1学年	類型登録の充実	整理整頓をしっかりとさせる。	生徒と、保護者・教員の間での認識の差が少なくなった。落し物も少なくなった。教材の持ち帰りの指導も含めて、今後さらに指導を続けたい。
		「朝読」を行うことで、落ち着いた状態で学校生活を始めさせる。	概ね出来ている。今後も継続指導をしていきたい。
		「進路サポート」を通して、職業意識や進路について考えさせる。	生徒は「できている」という回答が74%で高い。次年度につながるように、さらに工夫をしていきたい。
第1学年	類型登録の充実	面談を充実させ、適切なアドバイスをする。	中間評価時に比べて、保護者の方々からの評価が向上した。今後も、学校と生徒と家庭の連携を深めていきたい。
		週末課題などを通して基礎学力を定着させる。	中間評価に続き、保護者の方々からの評価のなかで、この項目の「2:できていない」が最も多い。家庭学習の時間の確保について、今後とも粘り強く指導を続けたい。